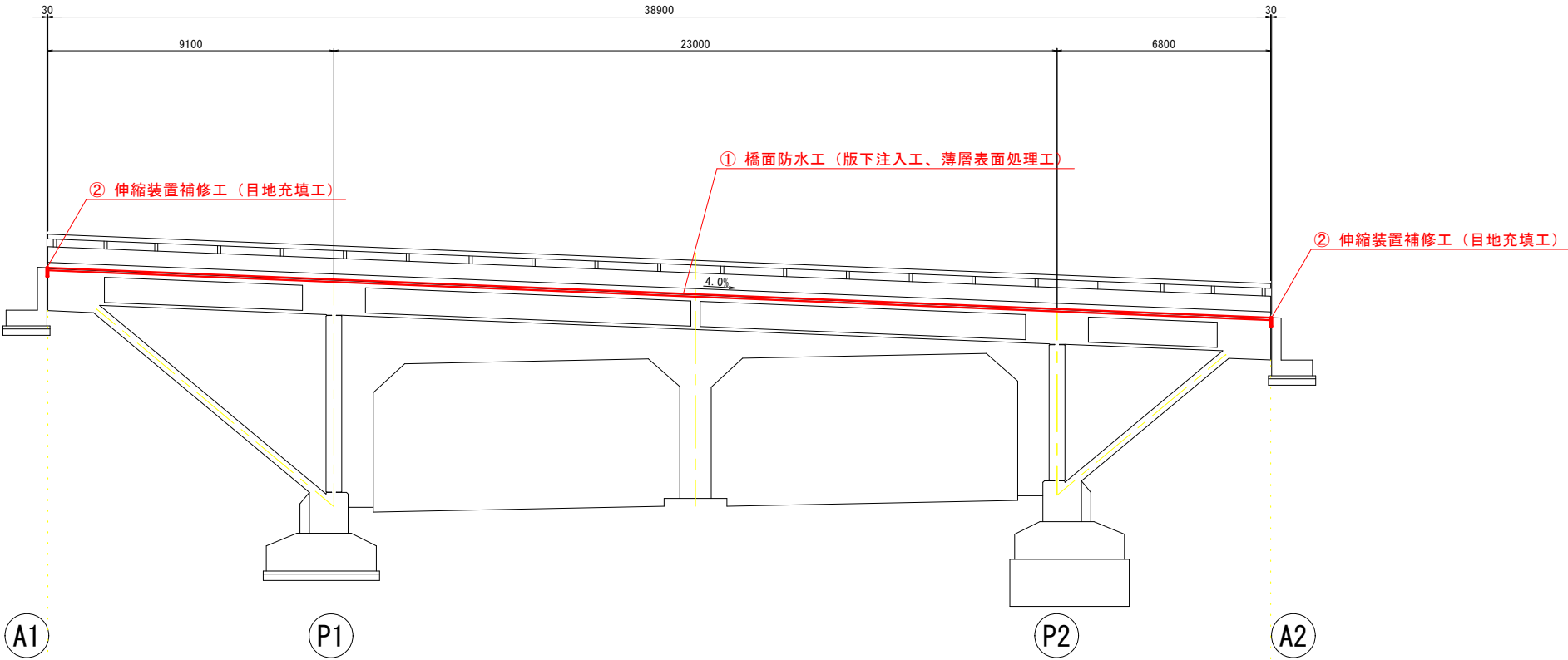
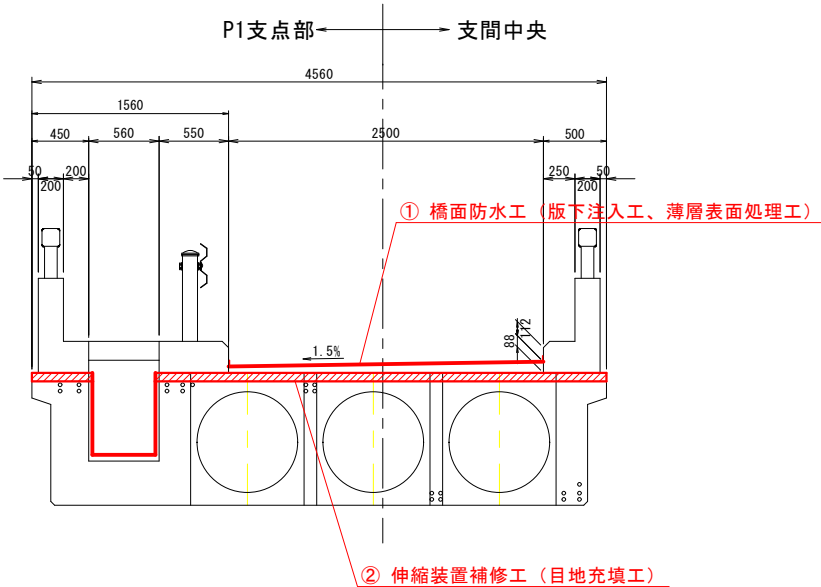


補修概要図

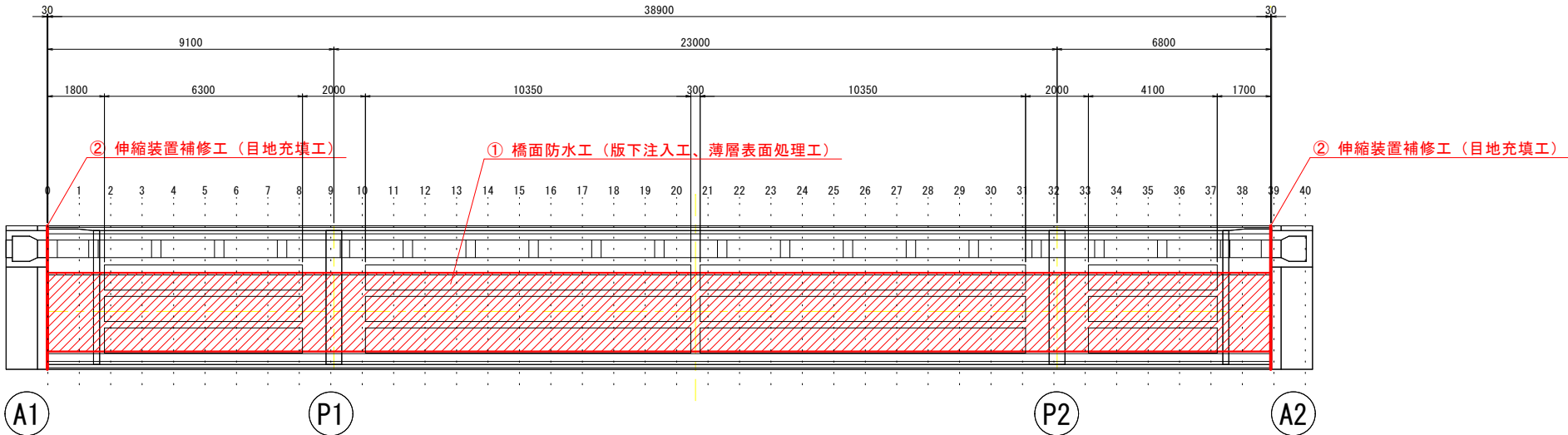
側面図 S=A1-1:100・A3-1:200



標準断面図 S=A1-1:30・A3-1:60



平面図 S=A1-1:100・A3-1:200

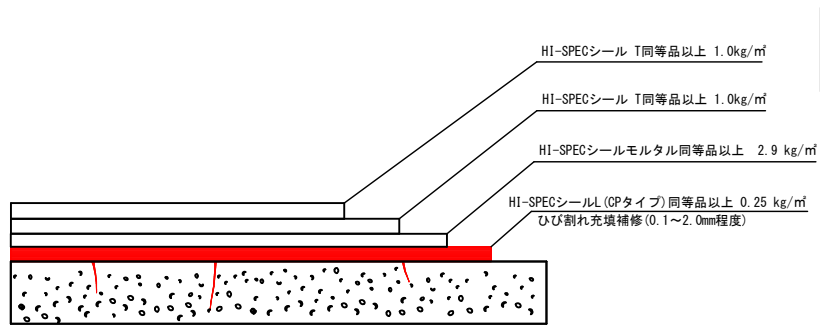


補修工種一覧

① 橋面防水工（版下注入工、薄層表面処理工）
② 伸縮装置補修工（目地充填工）

令和7年度 橋梁長寿命化事業 柳沢水路橋補修工事				
番号	1/3	補修概要図	縮尺	図示
柳沢20号線				
伊那市 西春近				
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント			
測量会社				
調査会社				
伊那市				

薄層表面処理工 詳細断面図
HI-SPECシール工法 (CPタイプ 厚塗り仕様) (同等品以上)



【工程および標準使用量】

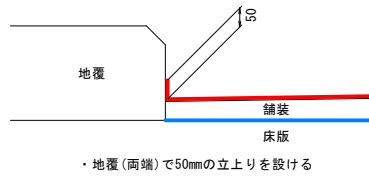
使用材料	標準使用量	工程
① HI-SPECシールL (CPタイプ) 同等品以上	0.25kg/m ²	1層目塗布
② HI-SPECシールモルタル同等品以上	2.9kg/m ²	2層目塗布
③ HI-SPECシール T 同等品以上	1.0kg/m ²	3層目塗布
④ HI-SPECシール T 同等品以上	1.0kg/m ²	4層目塗布

【性能】

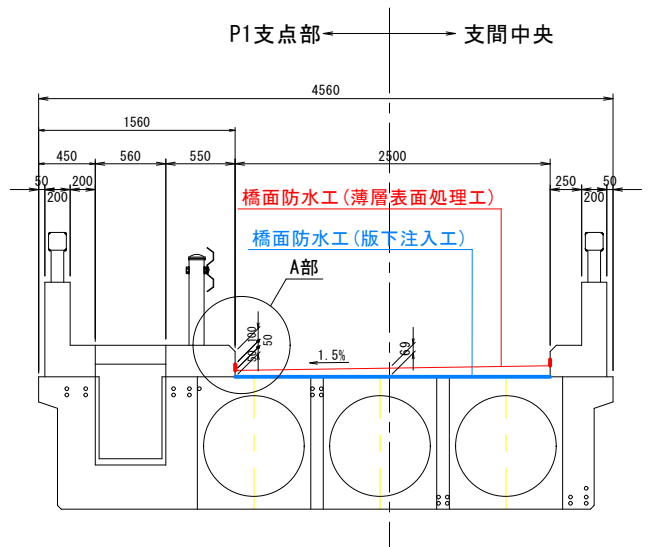
項目	要求性能	使用基準および法律
防水性試験 I	0.2m以下	道路橋床版防水便覧
すべり抵抗性	60BPN以上	舗装施工管理要領・舗装設計施工指針
危険物区分	非危険物であること	消防法

橋面補修計画図

地覆立上り部(A部) 詳細断面図 S=A1-1:10・A3-1:20



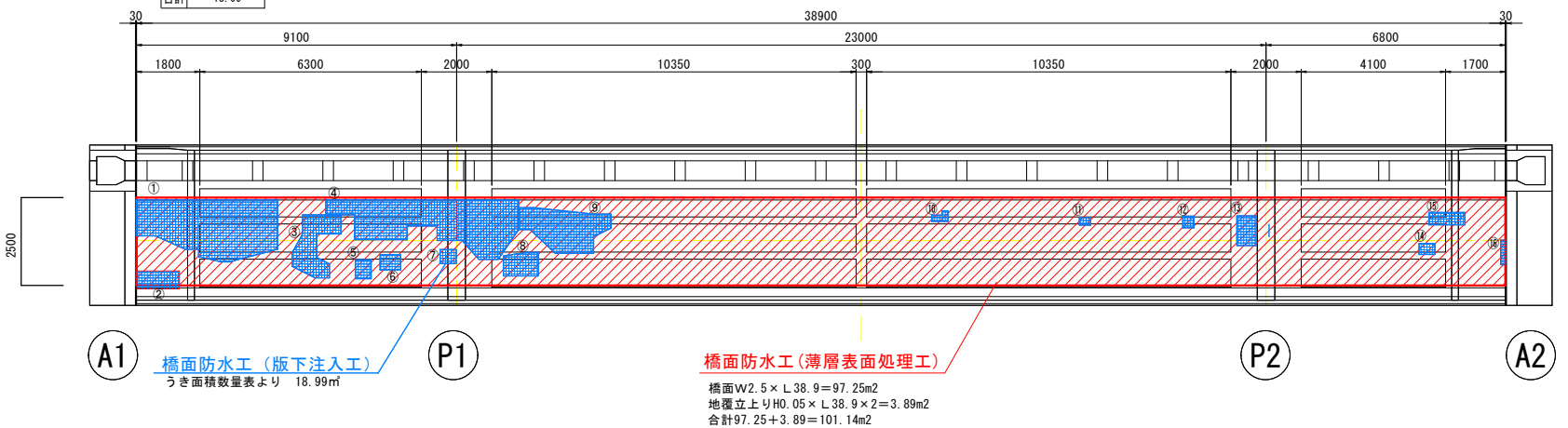
標準断面図 S=A1-1:30・A3-1:60



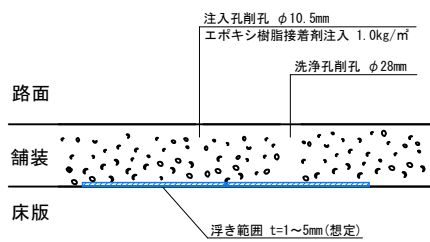
うき面積 数量表

番号	面積 (m ²)
1	5.78
2	0.61
3	1.45
4	5.83
5	0.24
6	0.25
7	0.18
8	0.63
9	2.40
10	0.10
11	0.07
12	0.10
13	0.47
14	0.44
15	0.36
16	0.08
合計	18.99

平面図 S=A1-1:100・A3-1:200



アルファテック342 (同等品以上)



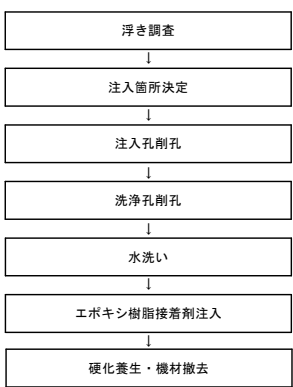
【工程および標準使用量】

使用材料	標準使用量	工程
① 主剤 変性エポキシ樹脂	0.67kg/m ²	ミキサーにより均一になるまで混合攪拌
② 硬化剤 変性脂肪族ポリアミン	0.33kg/m ²	

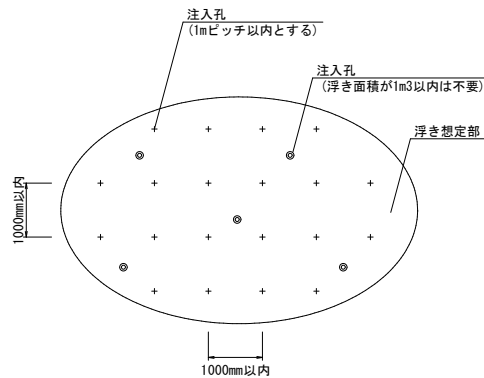
【性能】

未硬化物の性状 (23℃)		
主成分	アルファテック342同等品以上	
	主剤	硬化剤
	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	無色	橙色
外観(混合)	淡黄色	
混合比(重量)	2	1
粘度	700±200mPa・s	
比重	1.11±0.05	
可使時間(1Lスケール)	20分	
指触乾燥時間	2時間	

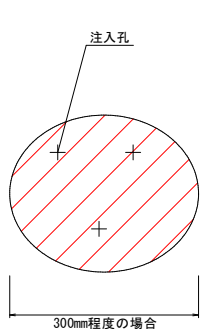
施工手順フロー



注入孔、洗浄孔位置参考図(面積大)



注入孔位置参考図(面積小)



注) 薄層表面処理工

- ・事前に現地確認を行い、施工箇所の範囲および詳細寸法を照査のうえ数量決定のこと。
- ・舗装面の清掃、下地処理を怠ると付着性が確保できないため、コンクリート粗面を露出させること。
- ・舗装上の汚れ、遊離石灰などは、サンダーケレン・高圧洗浄などにて入念に除去すること。
- ・各層の塗布手順、塗布方法、使用量および環境条件等を厳守すること。
- ・地覆際で路面水が流れるため、地覆(両側)において薄層処理の立ち上がり进行を設けること。
- ・メーカー仕様書、施工手順を確認のうえ、適切に入念な施工を行うこと。

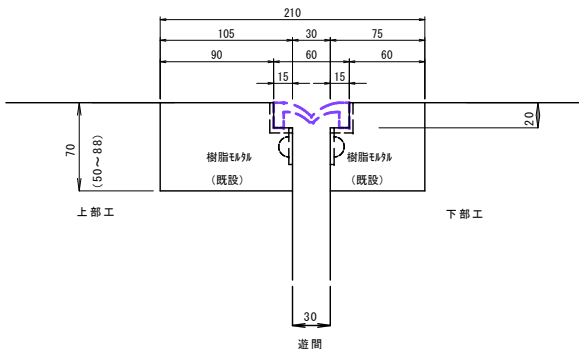
注) 版下注入工

- ・事前に現地確認を行い、施工箇所の範囲および詳細寸法を照査のうえ数量決定のこと。
- ・施工時点で浮き範囲の拡大や床版劣化が進行している場合は、数量変更を見込む。
- ・削孔時、ドリルが床版を損傷させないよう注意のこと(舗装厚は既存図より50~88mm)。
- ・注入孔は1本/m²(1mピッチ以内)とし、洗浄孔は下記必要性に応じて削孔する。
- ・水洗いにおいては浮き層の砂粒除去を目的とし、路下影響の無い橋端部にて試験的に施工し、下面漏水状況を把握のうえ全体への施工とする。ただし砂粒の噴出が確認されなければ、水洗い作業は除外すること可。なお汚水について適切に集水処理すること。
- ・注入量は浮き層1~5mmをそうていしてあり、注入樹脂が排出孔から噴出したことで充填完了とする。
- ・メーカー仕様書、施工手順を確認のうえ、適切に入念な施工を行うこと。

令和7年度 橋梁長寿命化事業 柳沢水路橋補修工事				
番号	2/3	橋面補修計画図	縮尺	図示
柳沢20号線				
伊那市 西春近				
設計会社	株式会社みすず総合コンサルタント			
測量会社				
調査会社				
伊那市				

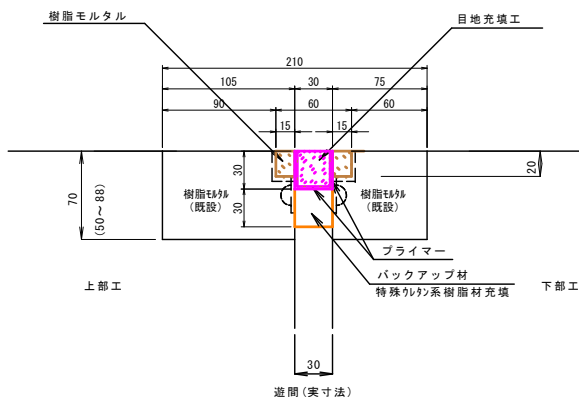
伸縮装置補修計画図

現況詳細断面図 (A1伸縮部) S=A1-1:3・A3-1:6

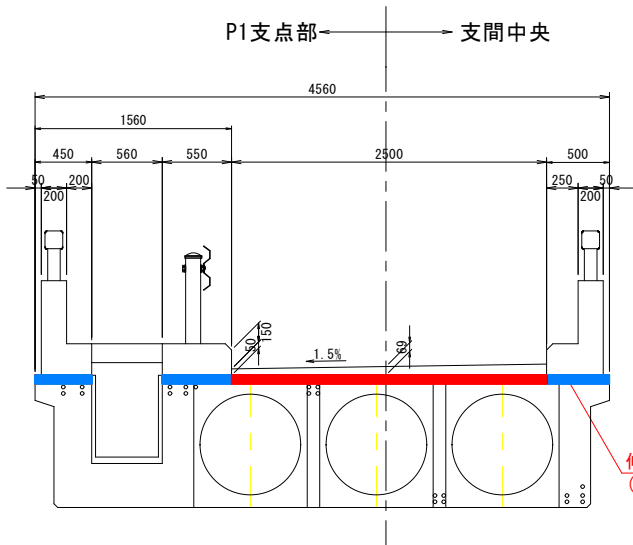


詳細断面図 (A1伸縮部) S=A1-1:3・A3-1:6

KFシールテクト YKB-J工法 (同等品)



標準断面図 S=A1-1:30・A3-1:60



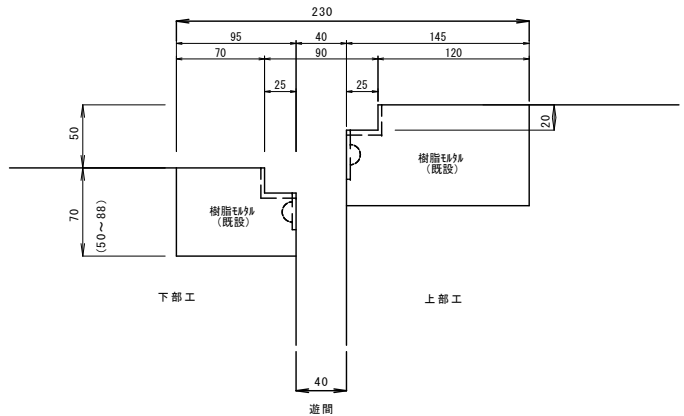
目地充填工延長数量

車道部 W=40mm L=2.50m
A1+A2 2.50+2.50=5.00m
地覆部 W=25mm L=0.45+0.55+0.50=1.50m
A1+A2 1.50+1.50=3.00m

樹脂モルタル数量

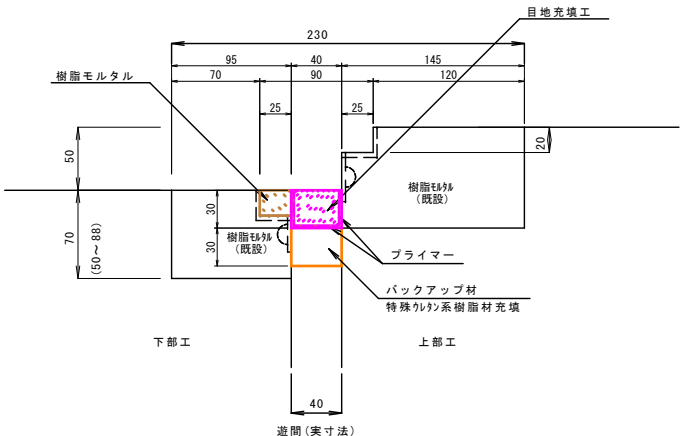
A1: 0.015 × 0.020 × 2.5 × 2 = 0.0015 m³
A2: 0.025 × 0.020 × 2.5 = 0.00125 m³
合 計 = 0.00275 m³

現況詳細断面図 (A2伸縮部) S=A1-1:3・A3-1:6

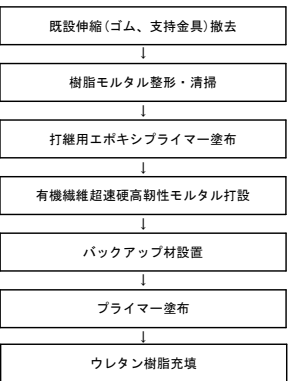


詳細断面図 (A2伸縮部) S=A1-1:3・A3-1:6

KFシールテクト YKB-J工法 (同等品以上)



施工手順フロー



樹脂モルタル工

【工程および標準使用量】

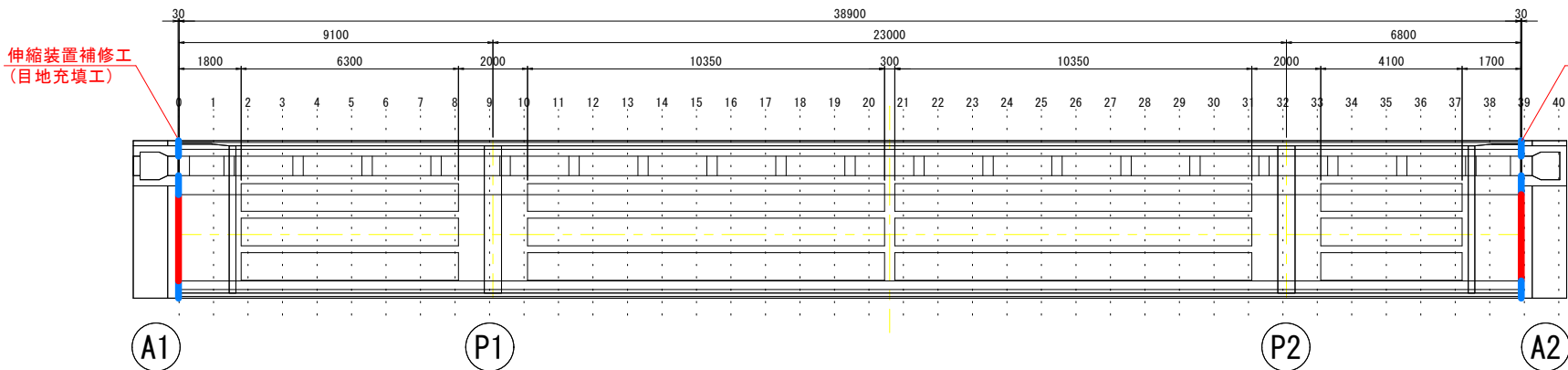
名称	面積	塗布量	材料ロス率	荷姿	設計缶数
打継ぎプライマー (SBJT) 同等品以上	0.30㎡	1.00kg/㎡	1.2	5.0kg/set	1缶
名称	体積	密度	材料ロス率	荷姿	設計set数
樹脂モルタル (オートモルスーパー) 同等品以上	0.003m ³	76set/m ³	1.5	25.182kg/set	2set

目地充填工

【工程および標準使用量】

名称	材料名 (仕様)	使用量	次工程までの間隔 (20℃)	荷姿
下塗材	KFウレタンプライマー50N (1液湿気硬化型ウレタンプライマー) 同等品以上	0.15kg/㎡	0.5~8時間	1.0kg/缶
シール材	KFシールテクトベース2000 (1成分湿気硬化型ウレタン樹脂) 同等品以上	1200kg/m ³	—	10.3kg/セット 主剤 10kg/缶 硬化促進剤 0.3kg/缶

平面図 S=A1-1:100・A3-1:200



注) 目地充填工

- ・事前に現地確認を行い、施工箇所の範囲および詳細寸法を照査のうえ数量決定のこと。
- ・既設伸縮ゴムおよび支持金具を撤去のうえ遊間幅を再確認のこと。
- ・A1伸縮部：既存図より30mm (現況実寸確認不可)、A2伸縮部：現況実寸40mm。
- ・樹脂モルタル成形の際、遊間へ撤去物が落ちないよう留意すること。
- ・ウレタン樹脂の仕上げ面は溝を形成する仕様であるが、本橋では滞水を避けるため設けない。
- ・メーカー仕様書、施工手順を確認のうえ、適切に入念な施工を行うこと。

令和7年度 橋梁長寿命化事業 柳沢水路橋補修工事				
番号	3/3	伸縮装置補修計画図	縮尺	図示
柳沢20号線				
伊那市 西春近				
設計会社	株式会社みずす総合コンサルタント			
測量会社				
調査会社				
伊那市				